

# 平成31年度 1学期始業式（全日制） 校長式辞

みなさん、おはようございます。

昨日の入学式で、新入生240名を迎えました。また、2、3年生もそれぞれ学年が上がり、いよいよ平成31年度のスタートです。

今年度は、5月1日に新元号「令和」となります。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められています。

古知野高校でも、新しいクラスの仲間と一緒に過ごし、励まし合い、鍛え合い、新しい担任の先生のもと、思い出に残る、よいクラスを築いてください。

新入生のみなさんには、昨日の入学式で高校生として心がけてほしいことを2つ話しました。

一つは「とりあえず、挑戦する」ということ、もう一つは、「熱中できるものを見つける」ということです。

2年生、3年生の皆さんは、もう熱中できるものを見つけられたでしょうか？ 私が着任してから1週間が経ちました。校内を歩いていると、明るく元気に一生懸命、部活動に取り組んでいる姿を見かけました。

運動部はもうすぐ総体予選が始まります。自分の力が100%出せるように調整してください。目標を達成できるのが一番よいことですが、そうでなくても後悔しないよう、全力を出し切れることを願っています。

まだ、熱中できるものが見つけられない人は、「とりあえず、挑戦する」ことから始めましょう。

離任式での先生方のメッセージを思い出してください。

やりたいことがわからないのに、何に挑戦するの？ ではなく、やりたいことがわからないのだから、とりあえず目の前のやるべきことをやってみよう！ ビンチはチャンス！ 顧問の先生から「やってみては！」と言われて合唱部を続けた。

本校のスローガン、「輝く望み 輝望の華を咲かせよう ～未来へつなぐ架け橋～」を実現するために一步を踏み出す勇氣、継続する粘り強さを期待します。

また、自分の枠組みから抜け出すために本を読みましょう！というメッセージもありました。

そこで、最近、私が読んで面白かった本を紹介します。それは、「星に願いを、そして手を」という本です。著者の青羽 悠（あおば ゆう）が高校1年生、16歳のときに書いた小説であり、彼にとって初めての小説です。科学館を舞台とした男女2人ずつ4人の、中学3年生から10年間の人生を描いたもので、高校での恋愛、友人関係、学校生活でのあれこれ、夢中になれることって何だろうなど、ホロリときたり、考えさせられたりするような内容です。しかも、読みやすい文章となっています。「星に願いを、そして手を」著者：青羽 悠（あおば ゆう）気になった人は、本屋で探してみてください。

最後に、令和元年の9月ラグビーのワールドカップが日本で開催されます。そこで、先生方に、「今年はスクラムを組んで、全力で生徒をサポートしましょう」と提案しました。生徒の皆さんには、「GO GO FORWARD！」「行け 行け 前へ！」を合言葉にすることを提案します。

平成31年度が、「未来につながる架け橋」となることを願って、1学期・始業式の式辞とします。